

平成27年11月26日

地方独立行政法人京都市立病院機構
京都市立病院
(担当 管理運営課 電話 311-5311)

(担当 保健福祉局保健衛生推進室医務衛生課
電話 213-2983)

大規模災害対応訓練及び京都DMAT訓練の実施について

この度、京都市立病院では、府内で大規模地震が発生した場合を想定し、災害発生時における市民への医療提供体制の強化を図るため、大規模災害対応訓練及び京都DMAT訓練を下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

記

1 概要

日 時：平成27年11月29日（日）午前10時～午後4時

会 場：京都市立病院，京都市立京北病院，京北消防ヘリポート

参加人数：約300名

2 参加機関

京都市立病院，京都市立京北病院，京都市消防局，京都府，京都第一赤十字病院，市立福知山市民病院，公立南丹病院，京都第二赤十字病院，洛和会音羽病院，第二岡本総合病院，宇治徳洲会病院，京都山城総合医療センター，日本赤十字社京都府支部等21機関・団体

3 訓練内容

(1) 災害想定

府南部地域を中心とした大規模地震（震度7）が発生し，多数の傷病者が災害拠点病院等に運び込まれる。

(2) 訓練想定

地震発生後，京都市立病院内に本院本部の設置と，DMAT参集後，DMATの本部を設置する。

周辺地域の多数傷病者受入，ヘリコプターでの傷病者受入，トリアージ（被災地で最大多数の傷病者に最善の医療を実施するため，治療優先度を定める行為），治療等

の医療支援活動を実施する。

(参考) DMATについて

災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team を略してDMAT (ディーマツト) という。

医師, 看護師, 業務調整員 (医師・看護師以外の医療職及び事務職員) で構成され, 大規模災害や多数の傷病者が発生した際, 急性期 (概ね48時間以内) に現場で活動できる機動性を持つ専門的な訓練を受けた医療チームである。